

# 東筑會報

TOCHIKU  
KAIHO  
2012.10.1

No. 33



## 一意専心

東筑会会長

高山和幸



先般の平成24年度の東筑会総会において、再三再四お断りいたしておりました会長にと会長推薦委員会で推薦され、承認をいただきました。1期3年は、役員幹事をはじめ会員の皆様のご協力ご支援を賜りまして大過なく過ぎました。厚くお礼を申し上げます。微力非才ながら、2期目をお受けいたしました。心機一転、一意専心努力をいたす所存でございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。新役員体制により、本年度の事業計画に基づき会の運営を推進いたしております。

6月9日の東筑会総会ならびに懇親会は、多数の皆様のご出席を賜りまして盛大かつ有意義に開催されました。一年に一度の機会ではありますが、先輩同輩後輩大いに交流を深められたことと存じます。当番期82期の皆様の諸準備ならびに運営のご苦勞に対しまして敬意を表し感謝申し上げます。来年度はより多くの皆様のご出席を祈念する次第です。当番期83期の皆様には、諸準備よろしくお願ひ申し上げます。

総会にて札幌に「北海道東筑会」が設

立された旨ご挨拶がありました。衷心よりお慶び申し上げます。地域東筑会は16地域となり、東筑会のみますの発展のために大きな力になることと存じます。

一方、母校では、3月1日に110期生（高校64期生）が卒業し、東筑会に入会しました。上級学校へ社会へと飛躍する東筑会の一歩若い会員であります。心から歓迎し、21世紀に生きる若い力に期待するとともに応援をしたいと思ひます。

また、「文武両道」「質実剛健」のもと、充分なる成果を発揮し、地域社会から高く評価されています。今後ますますの発展を期して、母校を私たち東筑会が支援することはこの上ない喜びであり、東筑会の発展にもなることと存じます。

東筑会は、各期・各地域・各職場等の組織をますます充実させ、発展のために努めなければなりません。何卒、会員の皆様のみますのご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

東筑会の皆様の益々のご健勝と母校の発展を祈念申し上げます。

# 伝統を継承する

学校長 柴田晴夫 (70期)



東筑会会員の皆様には、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃から母校東筑高校にご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。この春の人事異動で、宗像高校から第30代増田俊明校長の後任として赴任しました、柴田でございます。私自身、この東筑高校に勤務するのは、初めての経験であります。母校の発展のため粉骨砕身、努力する覚悟でございますのでよろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。

さて、本校は明治31年6月、本県最初の県立中学として、創立以来、今年で114年目を迎えます。この明治、大正、昭和、平成の長い時代の歩みの中で、終始一貫「一本松の精神」を具現化した校是「文武両道」、「質実剛健」の精神が脈々と受け継がれて来ております。この精神は、遠賀川と洞海湾に挟まれた交通の要衝折尾の歴史と伝統が育んだものであり、現在も八幡西区東筑一丁目一番一号の住人として、在校生1,111名がそれを継承すべく日々努力精進を重ねております。さらに、創立以来4万人を超える同窓生の方々が日本のみならず世界各地でご活躍されておられますことは、本校の生徒のみならず教職員にとりまして心強いかぎりであり、また、お陰様で、毎年3月に実施しております関東・関西地区の研修を始め部活動の全国大会等においても、諸先輩方にお世話いただき在校生が何事にも代え難い貴重な体験をさせていただいております。また、今回の管理棟の落成においても自習室の整備等、多大

なご支援をいただいたところでございます。このように教育条件も整い、文武両面の実績も素晴らしい本校で、第三学区、40を超える中学校から選ばれた多様な素質や能力を有した生徒の教育に携わることができ、私にとり、大きな喜びであると同時に、責任の重さを痛感しているところでございます。

早いもので、平成24年度も一学期が終了しましたが、生徒諸君は、文武両道を目指し、勉学に部活動に生徒会活動に先生と共に一生懸命取り組んでおります。具体的には、自助と共助の体験学習、文化祭、生徒総会、クラスマッチ（開校記念バレーボール大会）等の恒例行事に加え、7月に本校48期卒業の高倉健氏主演の「あなたへ」を関係各位の御尽力により先行鑑賞することができ、偉大な先輩の映画に全校生徒が感動に包まれたところであります。当日、映画終了後、竹尾昭東筑会顧問に高倉健先輩の在校当時の思い出等をお話しいただきました。その中で、竹尾先生が後輩である在校生に語られた「偉大な先輩に習うと言うことは自らの未熟さを自覚することである。」という言葉は、東筑生の視座として在校生の心に迫るものがありました。

部活動では、80%以上の生徒が所属し、多くの部活動が県大会に出場し活躍しています。特に陸上部、ボート部、山岳部、相撲部が九州大会に出場し、ボート部は全国大会（インターハイ）で男子舵手付きクオドルプルでは4位、女子ダブルスカルでは6位の入賞を果たしました。また文化部では、囲碁・将棋部は文部科学大臣杯全国大会で団体準優勝を果たし、またコオロギの鳴き方研究の成果を高く評価された生物部と共に全国高等学校総合文化祭に出場するなど、部活動は活気に満ち

ております。一方、新設になった本館三階の自習室では、夏休みの間でも、落ち着いた環境の中で、熱気溢れる在校生の自学が営まれています。その自習室から眼下に伸びる正門の階段の側には、緑園の本立の中で、木漏れ日に揺れる舟越保武氏の「船出」の少女の像が静かに佇んでいます。これは創立百周年記念に東筑会から寄贈されたもので、登下校する日々の生徒の

心を和ませるとともに、本校を巣立つ若者の無限の可能性を示唆しています。最後になりましたが、次代を担っていく若き後輩達が文武両道、質実剛健の校風を脈々と受け継ぎながら、日々心身の鍛錬に努め、志を高く掲げて船出していきます。先輩諸氏におかれましては、卒業生をどうぞ宜しくご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

## 母校本館改築記念事業の

## 収支報告について

幹事長 長野 熙

平成23年度、母校本館改築に伴う教育用機器の充実を図るために募金活動を実施致しました。会員皆様には格別なご支援とご協力を賜り、早期に目標額を達成することができました。心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

### 本館改築記念事業

#### 収支計算報告書

平成22年11月1日～平成23年10月31日

収入		(単位:円)			
費目	計画内訳	予算額	決算額	増減	備考
賛助金	記念募金	12,000,000	12,146,000	146,000	什器・備品
雑収入		0	780	780	預金利息
東筑会補助金			30,833	30,833	不足金補充
収入計		12,000,000	12,177,613	177,613	

支出		(単位:円)			
費目	計画内訳	予算額	決算額	増減	備考
什器備品購入費	什器・備品	10,657,500	11,319,723	662,223	見積書通り
募金経費	募金に要する経費等	1,342,500	857,890	△484,610	趣意書、振込み用紙、領収書、郵送料、その他
合計		12,000,000	12,177,613	177,613	

以上の通り、平成22年11月1日～平成23年10月31日迄の収支計算書の報告を致します。

平成23年11月7日  
東筑高等学校本館改築記念事業実行委員会  
委員長 高山 和幸

上記について、出納簿、証憑書類等を精査・照合の結果、正当であることを認めます。

平成23年11月8日  
会計監査 加藤 勝丸

# 平成24年度 総会 報告

梅雨入り間近な6月9日(土)、東筑高等学校同窓会が北九州八幡口イヤルホテルにおいて開催されました。まず15時から万葉の間にて総会が開かれました。司会である佐竹副幹事長の開会のことばに引き続き、高山会長、柴田新校長のご挨拶。その後、会則に則り議長に高山会長を選出し、議案の審議に入りました。

平成23年度の事業報告、収支決算報告、監査報告がなされ承認。平成24年度事業計画案、収支予算案の提示がなされこちらも承認されました。その他、北海道東筑会が3月に発足した旨が報告されました。

次に16時からロイヤルホールにて当番期82期のお世話のもと、懇親会が催されました。柴田新校長からは転任のご挨拶の後、昨年7月の本館竣工に際して東筑会が行った寄付1200万円に對するお礼の言葉がありました。現役生が高い志を持って学習に励む環境整備の一助となっているようです。

1200名を超える参加者が、今年の総会テーマにあるごとく「東筑から始まった」絆を温め、懇親会は盛会のうちにお開きとなりました。

## 平成24年度事業計画

会則第二条(本会の目的)達成のため、平成24年度は左記の事業を行う。

- ① 母校発展のため、教職員・生徒・保護者との密接な連携・生徒派遣事業の支援・校庭・花壇の充実
- ② 各地区東筑会との連携強化
- ③ 組織網の強化(組織委員会)
- ④ 年会費の納入促進(名簿の拡充)(財務委員会)
- ⑤ 東筑会報(第33号)の発行(会報委員会)
- ⑥ 東筑会館史料展示室の整備
- ⑦ 「平成25年度版」会員名簿の発行

### 平成24年度 一般会計予算書

自 平成24年5月1日  
至 平成25年4月30日

費 目	予 算	備 考
繰 越 金	2,600,481	
入 会 金	5,332,800	4,800 × 1,111 人 (111・112・113 期)
会 費	3,000,000	2,000 × 1,500 人
名 簿 取 入	3,582,600	4,200 × 353 人 (111 期生) 5,000 × 20 人 広告料 2,000,000
名簿印刷積立金より	2,000,000	名簿印刷積立金取り崩し
雑 取 入	10,000	預金利息他
計	16,525,881	

#### (支 出)

費 目	予 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(83期)へ
会 議 費	150,000	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	200,000	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,300,000	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	450,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	250,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	80,000	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	900,000	電話・電気料、通信費、パソコン、コピー機リース料、事務室使用料、ホームページサーバー料
振 替 手 数 料	150,000	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局員
教 育 振 興 費	2,500,000	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金・校庭・花壇・図書館の充実
名 簿 印 刷 費	5,670,000	4,200 × 1,350 冊
予 備 費	225,881	
計	16,525,881	

### 平成23年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 高山 和 幸 殿

このことについて、下記の通り報告します。

記

平成23年度「東筑会一般会計」「東筑会基本基金会計」について、出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成24年5月14日

会計監査 松 永 等 ㊟  
会計監査 加 藤 勝 丸 ㊟

### 平成23年度 一般会計決算書

自 平成23年5月1日  
至 平成24年4月30日

費 目	決 算	備 考
繰 越 金	1,089,050	
入 会 金	5,064,000	4,800 × 1,055 人 (110・111・112 期)
会 費	6,912,000	2,000 × 3,422 人・4,000 × 17 人
名 簿 取 入	1,530,000	4,200 × 350 人 (110 期生) 5,000 × 12 人
寄 付 金	1,694,865	81 期より 694,865 OBより 1,000,000
雑 取 入	1,000,336	81 期より 950,000 上総東筑会より 20,000 (株)西広 30,000 預金利息
計	17,290,251	

#### (支 出)

費 目	決 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(82期)へ
会 議 費	141,018	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	65,231	卒業証書入れ筒
会 報 費	3,255,478	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	423,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	227,940	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	66,740	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	886,078	電話・電気料、通信費、パソコン、コピー機リース料、事務室使用料、ホームページサーバー料
振 替 手 数 料	367,300	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局員
教 育 振 興 費	2,106,985	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金 500,000・図書館充実
名 簿 印 刷 積 立 金	2,000,000	平成 25 年度版 (H25/3 発行予定)
寄 付 金	1,000,000	岩手県立釜石高校へ義捐金
基 本 金	1,500,000	
予 備 費	0	
計	14,689,770	
差 引 残 高	2,600,481	次年度へ繰越

### 平成23年度 基本基金会計決算書

自 平成23年5月1日  
至 平成24年4月30日

費 目	金 額	備 考
繰 越 金	20,594,698	
繰 入 金	1,500,000	一般会計より
雑 取 入	7,426	預金利息
計	22,102,124	次年度へ繰越

## 当番期を終えて

今年度の同窓会総会・懇親会では多くの同窓の皆様にご世話になりました。

また、この当番期という機会を与えていただきましたことに対しまして、合わせて心から感謝申し上げます。

この当番期活動を通して、本当に多くの貴重な体験をさせていただきました。

地域東筑会では全国各地でご活躍されている同窓の方々から、大きな力を頂戴しました。

東筑会入会式・卒業式・入学式といった学校行事を通して、東筑高校の今を生きる後輩たちに脈々と受け継がれている東筑の伝統を

目の当たりにすることができました。

ゴルフ大会では、世代を超えた笑顔と真剣なまなざしに触れ、同窓の絆を感じる事ができました。また東筑会の役員の皆様からは、温かく見守っていただき、支えていただきました。

そして同期のみんなと、笑い、泣き・ケンカもし、楽しくかつ真剣に当番期のあらゆる活動を分かち合えたことが最大の財産であると、今改めてかみしめあっています。

みんなが業務を分担し、会議を重ね、すり合わせを行うなど、まるで高校時代に戻ったかのよう

## 82期会長 神森正茂

楽しさと、当番期の責任の重さを共有し合えたと感じています。

これからは、当番期を終えた最年少の同窓として、今年度の当番期である83期の皆さんに対して微力ではありますが、東筑高校の歴史と伝統を継承していく役割を担っていく所存です。

「東筑から始まる」のテーマのごとく、この当番期を新しいスタートとして先輩たちに負けないような同期の絆を深めていきたいと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本当に有難うございました。

## 当番期を迎えて

去る6月9日の東筑会懇親会で82期の神森先輩から当番期の襷を受け取りました。壇上が上がって初めてその責任の重さを痛感しました。母校を卒業し30年近くの日が流れ、「当番期」という人生において一度しか味わえないチャンスに同期の絆を深く結びつけてくれた事に大変感謝いたします。40代半ばと言えば社会人にとって一番忙しい時期に母校の為に、同期のメンバーが快く業務を引き受けて頂いて本当に感謝しています。

「東筑の伝統」とは何かと考えると学生時代はひたすら講義と部活動しかイメージがありません

が、社会人になると母校の話題が何かと気になるものです。校訓である「質実剛健」「文武両道」この言葉が社会に出てだけ大事か理解出来る様になりました。この精神こそが東筑の伝統であると思います。その思いを83期のメンバーは、一丸となって総会・懇親会を成功させ84期に襷を繋いでいかなければいけません。伝統とは途中で切れてはいけないものだと思います。

大正2年の8月に第1回の同窓会が始まって来年で記念すべき100回を迎えます。卒業生も3万8千名を越え例年になり盛り上がりを見せたいと思っています。

## 83期会長 別府謙次

東筑ゴルフ大会も30回の節目の大会です。最近では、70期以降の参加者が少なくなっています。自分もこれを期に始めてみました。来年は盛大に参加者が楽しめるコンペを企画したいと思っています。

今年から北海道東筑会も発足され、南はひのくに東筑会まで、全国に広がっている地域東筑会に足を運んで先輩方の御指導を賜りたいと思っています。来年の東筑会総会、懇親会にご出席して頂ける諸先輩に本心に心から喜んで頂ける会が提供出来る様に、83期のメンバーが全力で企画したいと思

います。どうぞよろしくお願ひします。

## ◆ 第29回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

5月11日(金)にザ・クラシックゴルフ倶楽部にて、第29回東筑ゴルフ大会を開催しました。

当日は天候に恵まれ、43期から96期までの253名が参加され、大変賑やかなゴルフ大会となりました。

ハンディキャップは、ザ・クラシックゴルフ倶楽部のダブルペリア方式で行いました。ここに大会成績を発表させていただきます。

入賞された皆様方には心よりお祝い申し上げます。

以下が成績となります。(敬称略)

### 団体の部

- 優勝：64期
- 2位：67期
- 3位：56期

### 個人の部

#### ●Gシニアの部

- 優勝：船津富三夫 (52期)
- 2位：出川 続久 (53期)
- 3位：徳永 修一 (56期)
- ベストクロス 宇野木 隆 (57期)
- 菅 十一朗 (58期)

#### ●シニアの部

- 優勝：田中 哲司 (67期)
- 2位：吉村 恭典 (67期)
- 3位：竹内 英嗣 (63期：ベストクロス)

#### ●一般の部

- 優勝：福田 真司 (80期)
- 2位：荒井 泰雅 (69期)
- 3位：才藤 眞 (74期)
- ベストクロス 高原 博樹 (78期)

### ●女性の部

- 優勝：菊次 幸代 (64期：ベストクロス)
- 2位：松尾恵津子 (58期)
- 3位：中澤 陽子 (69期)

皆さまのおかげで、けが人もなく無事にゴルフ大会を終えましたことを報告させていただきますとともに、東日本大震災チャリティに多数の参加を頂きました事をお礼申し上げます。ありがとうございました。

82期東筑会ゴルフ委員長 佐々木 亮



# ●新役員が決まりました●

新年度役員・幹事・委員に次の方々を選出されました。東筑会の更なる発展のためにご尽力お願いいたします。

(◎は常任幹事)

## 役員

名誉会長	柴田 晴夫 (母校校長70期)	(42期) 林 宏・吉田 繁美	(78期) ◎吉松秀雄・数住 宗貴
会長	高山 和幸 (56期)	(43期) 古川 重美	(79期) 中川 靖啓・藤井 潤
副会長	高野 利昭 (57期)	(44期) 滝瀬 博志	(80期) 天野 浩文・江口 悟
〃	佐藤 秀二 (60期)	(45期) 井川 恒利	(81期) 赤松 由隆・坂井 浩司
〃	廣田 貴子 (65期)	(46期) 日高 英俊・加藤 正道	(82期) ◎神森正茂・◎江口暢啓
〃	高崎 徳彦 (68期)	(47期) 石松 英幸・村上 干潮	(83期) 安田 賢二・辻 孝浩
〃	佐竹 真人 (74期)	(48期) 荒木 孝治・安部 一正	(84期) 林 和道・秋月 裕幸
〃	福山 岳彦 (76期)	(49期) 永田 憲生・林 秀樹	(85期) 横尾 素道・山下耕太郎
幹事長	長野 熙 (56期)	(50期) 葉山 隆・高橋昭八郎	(86期) 前田 靖弘・笹川 正秀
幹事長代理	波田 賢一 (68期)	(51期) 江藤 幹男・山崎八江子	(87期) 田村 浩之・廣渡 実和
副幹事長	原田 美穂 (78期)	(52期) 田代 栄一・成清 英子	(88期) 柴田 泰山・田中 良知
〃	中川 靖啓 (79期)	(53期) 小野 亨雄・倉田 博子	(89期) 井上 亮・松本 卓志
〃	小野 裕和 (81期)	(54期) 末吉 倫雄・田中 静子	(90期) 松尾 智章
〃	神森 正茂 (82期)	(55期) ◎大迫隆典・末松 恒雄	(91期) 櫻井 康雅・福山 貴子
会計	福田 省三 (63期)	(56期) ◎安部久喜・前田 義昭	(92期) 山部 和範・加藤 敦子
〃	石神 務 (69期)	(57期) 森 肇・夜部 栄子	(93期) ◎平井 健・◎吉村知子
監査	矢野 定延 (55期)	(58期) 須藤 達一・白石 千春	(94期) 馬田 智也・三原 朝利
〃	井玉 光徳 (61期)	(59期) 木村 久光・三好 伸介	(95期) 清本 芳史・川野由香梨
特別顧問	小野 晃 (51期)	(60期) ◎有田秀明・森 スマ子	(96期) 中村 寛・中村 正江
顧問	竹尾 昭 (45期)	(61期) ◎古賀正博・中本 正道	(97期) 山口 伸治・宮崎 彩
〃	日高 康 (53期)	(62期) 栗田 修一・山住 道子	(98期) 小早川知徳・貞清 育恵
〃	白石 千春 (58期)	(63期) 船津 革・島津 文子	(99期) 藤田 祥平・保月 昇子
相談役	浜中 茂足 (43期)	(64期) 日高 教夫・吉田 泰一	(100期) 渡辺 大樹・花田 裕子
〃	樋高 龍治 (53期)	(65期) ◎大橋憲市・田中日出夫	(101期) 平田 鷹司・和田早紀子
〃	三原 朝彦 (64期)	(66期) 加来 久幸・小川 博幸	(102期) 柴岡 秀年・坂本 一子
事務局長	小川 邦彦 (77期)	(67期) 後田 広治・黒川 正幸	暁の松 平成23年3月31日解散
事務次長	富永 敏郎 (72期)	(68期) 櫻井日出也・田島 武	
〃	増本 俊記 (85期)	(69期) 末吉 信之・田中 廣美	
事務局	豊倉 辰志 (57期)	(70期) 須藤 正樹・濱田 泉	
		(71期) ◎三宅正輝・石丸 靖彦	
		(72期) 長畑 重弘・草野 克也	
		(73期) 大峯 一純・南野 義明	
		(74期) 堀江恵美子・佐竹 真人	
		(75期) 阿高 和憲・奥田 尚弘	
		(76期) 竹内 容子・菊竹 史郎	
		(77期) 太田 清治・徳崎 康司	

## 幹事

- (34期) 武谷 薫
- (35期) 矢野 隆三
- (37期) 添田哲太郎
- (39期) 刀根 博愛
- (41期) 佐藤 通泰

## 各委員会

- 財務委員長 三宅 正輝 (71期)
- 組織委員長 日高 教夫 (64期)
- 会報委員長 青野 元昭 (70期)

## お願い

代表幹事が交代する場合は同期で打合せのうえ、後任者を事務局長にお届け下さい。

不活幹事は運営に支障をきたすことが予想されます。



# 各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)

(平成24年8月27日現在)

その他20種目に出場

- 〔弓道部〕
  - ・全九州高校体育大会県大会
    - 男子個人・男子団体 女子個人
  - ・県高校総体
    - 男子個人 女子個人・女子団体
- 〔剣道部〕
  - ・全九州高校体育大会県大会
    - 男子個人 3位
  - ・全九州高校剣道大会県予選
    - 男子 ベスト8 女子
  - ・全国高校剣道大会県予選
    - 男子 ベスト8 女子
  - ・玉竜旗高校剣道大会
    - 男子 ベスト32
- 〔柔道部〕
  - ・全九州高校体育大会県大会
    - 男子個人3名・男子団体
- 〔相撲部〕
  - ・全九州高校体育大会 個人
  - ・全九州高校体育大会県大会
    - 個人 3位
- 〔山岳部〕
  - ・第67回岐阜県九州ブロック大会
    - 少年女子 2位(団体出場決定)
  - ・第67回岐阜県国体県予選会
    - 少年男子 3位
    - 少年女子 2位・3位
  - ・全国高校クライミング大会
    - 男子団体・女子団体
- 〔陸上部〕
  - ・九州高校体育大会
    - 女子走高跳 9位
  - ・県高校総体
    - 男子800m・三段跳 2位
    - 女子400mH・女子走高跳 2位
  - ・県高校選手権
    - 男子三段跳・女子100mH
    - 女子走高跳 2位
- 〔水泳部〕
  - ・県高校総体
    - 400mリレー
    - 200mリレー
    - 100mリレー
    - 100m自由形
    - 100mバタフライ
- 〔ボート部〕
  - ・全国高校総体県予選
    - 男子舵手つきオドルブルの部 1位
    - 女子シングルスカルの部 1位
    - 女子ダブルスカルの部 1位
    - 女子舵手つきオドルブルの部 1位
  - ・同全国大会
    - 男子舵手つきオドルブルの部 4位
    - 女子ダブルスカルの部 6位
  - ・国体九州ブロック大会
    - 少年男子舵手つきオドルブルの部 1位
    - 少年女子シングルスカルの部 3位
  - ・第67回国民体育大会出場決定以上
    - 第9回高等学校体育大会
      - 男子舵手つきオドルブルの部 3位
    - 第59回九州朝日レガッタ
      - 男子舵手つきオドルブル 1位
      - 女子シングルスカルの部 2位
      - 女子ダブルスカルの部 1位
    - 第65回全九州高校ラグビー県予選大会
      - 県ベスト8
- 〔テニス部〕
  - ・全九州高校体育大会県大会
    - 男子団体・女子団体
  - ・全国高校総体県大会
    - 男子団体・女子団体
  - 〔ソフトテニス部〕
    - ・全九州高校体育大会県大会 女子個人
    - ・全国高校総体県大会 女子個人
  - 〔バドミントン部〕
    - ・県高校総体 男子団体
  - 〔卓球部〕
    - ・全国高校総体県予選 男子個人
    - ・全日本卓球選手権県大会
      - 男子個人 出場決定
  - 〔バレーボール部〕
    - ・全九州高校体育大会県大会
      - 男子・女子
    - ・全国高校総体県大会
      - 男子・女子
    - ・全日本選手権県大会
      - 男子・女子
    - ・全日本高校選手権県大会
      - 男子・女子 県ベスト16
  - 〔バスケットボール部〕
    - ・全九州高校新人大会県大会
      - 男子・女子 ベスト16
    - ・全九州高校体育大会県大会
      - 男子・女子 ベスト16
- 〔囲碁・将棋部〕
  - ・第36回全国高等学校総合文化祭
    - 囲碁部門県大会
      - 男子個人 11位 女子個人 2位
    - 同全国大会県代表1名出場
      - 男女混合団体 13位
  - ・第36回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会県大会
    - 男子団体 4位 女子団体 1位
    - 男子個人 6位 女子個人 1位
  - ・同全国大会 女子団体 準優勝
- 〔生物部〕
  - ・第36回全国高校総合文化祭
    - 自然科学生物部門全国大会 4位
- 〔総合部〕
  - ・第36回全国高校総合文化祭小倉百人一首部門全国大会 県代表1名出場
  - ・第31回県高校音楽コンクールピアノ部門 金賞・銅賞
  - ・第13回シン・パン国際ピアノコンクールinアジア 出場
  - ・第6回世界水フォーラム 日本代表
- 〔放送委員会〕
  - ・高文連放送コンテスタ県大会朗読部門 個人3名
- 〔美術部〕
  - ・第26回県高校総合文化祭絵画部門 特選
  - ・高文連第25回デザインコンペ自由部門 入選・佳作・特選
- 〔保健委員会〕
  - ・第58回県高校保健研究発表大会
    - 標語・論文・ポスターの部
  - 総合優秀校

## 財東筑奨学会 支援のお願い

財団法人「東筑奨学会」は昭和56年6月に、学校法人東筑学館の解散後の残余を基礎とし、同窓会・PTA及び地域有志の方々の寄付を基本金として設立されました。その設立の目的は、「経済社会の激変に伴い、近年思想の著しい混乱の中にあって、心身ともに発展途上にある子弟の学校教育並びに社会教育が重要である」との観点から、福岡県立東筑高等学校の教育の充実と健全なる校風の振興を援助し、併せて北九州地区の教育の振興に寄与することを旨としています。

具体的活動としては、在校生に奨学金を支給し、或いは生徒の範となる者に対して卒業時に記念品等を贈っています。学業成績が特に優れた者、部活動で全国大会優勝、またはこれに準ずる成績をあげた者、全国大会出場、またはこれに準ずる成績をあげた者、3年間を通じて皆勤した者等が対象となっています。

今後、東筑高等学校も百年の歴史の節目を経て、新たな世紀に歩を進めておりますが、本奨学会も、時代の進展に応じて、事業内容を更に精進充実し、東筑高等学校の文武にわたる振興のために活動したいと思っております。つきましては、皆様に物心にわたるご支援をお願いいたします。

二十一世紀を担うに足る有徳の青年の育成を目指している東筑高等学校の今後の更なる発展を期して、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、ご承知のとおり新公益法人制度が施行され、平成25年11月までに一般財団法人もしくは公益財団法人の選択をする必要があります。

当奨学会は当初、公益財団法人化にむけて検討してまいりましたが、種々の制約があり、一般財団法人としてスタートすべく手続き申請中です。

財団法人 東筑奨学会  
理事長 小野 晃  
事務局  
〒807-10832  
北九州市八幡西区東筑  
一丁目1番1号  
福岡県立東筑高等学校 事務室内  
電話 093169110050

※奨学金基金へのご寄附は、左記へ振込みください。ますようお願い申し上げます。

福岡銀行 折尾支店  
普通預金 1321864  
財東筑奨学会

## トピックス

## 伝統の一戦

野球部監督 山部和範(92期)

去る5月30日、第22回東筑・小倉定期野球大会が行われました。桃園球場は両校の全校生徒や一般の観戦客で溢れかえり、平日の昼間とは思えないほどの熱気に包まれていました。昨年同様、J・COMによるテレビ放映もあり、このような環境で野球をさせてもらえる両校選手たちは本当に幸せです。

さて、この「定期戦」は私が高校1年生の時に始まりまして、在学中の3年間負け続けました。そして、私が監督となった一昨年、昨年と2連敗。もう、おわかりでしょうか。私個人としては、定期戦怒涛の5連敗中だったので。今年こそは勝ちたい、いや、勝ってみたい。まして、ここまでの通算対戦成績も10勝10敗1分と全くの五分。並々ならぬ思いをもって試合に臨みました。

試合は1点を争う好ゲームとなりました。5回表に守備の乱れから1点を失い、0-1とリードされたまま終盤に入りました。スコアボードに「0」が並ぶにつれて嫌な予感がしたのですが、選手たちがそれを振り払ってくれました。8回裏2死2塁から連続タイムリーで逆転。そのまま2-1で勝つことができました。試合後、優勝旗を触らせてもらいました。思ったよりも古びていて、年月を感じさせるものでした。

たかが定期戦、されど定期戦。来年はいくらかでも気楽に戦えるのではないかと思っています。いざ本番となるとそうも言えなくなるでしょう。私が背負った「借金」返済のためには、最低でもあと4年勝ち続けなければなりません。頑張ります。



熱気あふれる応援合戦 2-1で勝利

## トピックス

## 文化祭昨今

東筑高校教諭 上野真澄(78期)

本年度文化祭は「興」というテーマのもと6月2日に行われ、文化部、クラス、学年、委員会、有志等を単位とし短い準備期間また公開時間にもかかわらず、思い出に残る行事となりました。

多くの生徒が体育系部活動に加入する中、文化部の生徒にとっては日頃の活動の成果を発揮すべくこの日に照準を合わせ準備、練習を重ねていきます。美術、書道、新聞、文芸、写真各部による作品展示。音楽、吹奏楽、ESS、演劇各部による実演。食物部による手作り菓子の販売、茶道部によるお手前等、どの文化部の生徒も普段とは全く異なる側面を覗かせるのが文化祭の醍醐味の一つになっています。

1・2年生はクラス企画として全員が文化祭に参加します。1年生は百年館でクラス毎に合唱や演劇、器楽演奏等のパフォーマンスを行います。2年生は主としてDR教室で自主製作映画の上映、プラネタリウムやミニ科学実験、身近なものの調査研究の発表等を行います。3年生は学年企画として全クラス合同で百人一首、東筑クイズ、年表作成等に取り組み、短期集中型の企画を成功させています。

クラス企画も実質的には中間考査終了後の1・2週間の短い準備期間で作品を仕上げていく事が多く、東筑生の集中力を実感させられます。生徒会や教員の支えはあるのですが、基本的には立案、準備、練習、本番に至るまで自分たちで完成させる姿は非常に頼もしい思いがします。勉強や部活動との兼ね合いが難しいところがあるのですが、生徒は本来持っている力を十分に発揮し、潜在能力の高さ、若さ、そして躍動感を感ずる1日となっています。



文化祭のフィナーレ

## 各地区東筑会だより

東京東筑会



古野 英子

皆様には、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。私は平成24年度東京東筑会総会にて副会長再任を拜命致しました64期の古野英子と申します。

北村憲雄会長のリーダーシップのもと、会のみずみずの発展を目指していく所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、東京東筑会の近況などをご紹介します。

当会は、春の総会、会報誌発行、秋の懇親会を大きな柱として、幹事会、役員会がそれぞれ年間6回程開催されます。この間に現役高校生生内研修、各界で活躍する東筑生を講師に招いての「東筑フォーラム」、新社会人のための「あずみ会」、学生部「つぼみ会」や「就活を応援する会」などが催されます。同好会はカラオケ、ゴルフ、テニス、ラグビー、ウォーキング、美術鑑賞、異業種交流など、まさに文武両道、多彩です。トピックスといたしましては、女子部「東筑女子会」がスタートしました。近年、母校においても女子の活躍は目覚ましく、頼もしい限りですが、世代をこえてさらに絆を強め、会の活性化を図りたいという主旨のもと設立されました。

そのほか、北九州地域の在京同窓会交流の場「謝志会」や「東京福岡県人会」においても、わが東筑生は運営のメンバーとし

て活躍致しております。  
昨年の東京東筑会懇親会は東日本大震災後の困難な中にもかかわらず過去最多の参加者を記録し、当番期の皆さんの団結力には本当に感動しました。

そして、来る11月10日(土)の懇親会は「東筑がひとつになる」を合言葉に当番期82期の皆さんが精魂を傾け、着々と準備中です。どうぞご期待ください。

皆々様のご参加を東京東筑会一同、心待ちに致しております。

東京東筑会ホームページ

www.tochikukai.com

副会長 古野英子(64期)記

### 東海東筑会

平成24年度の活動報告をいたします。

まずは、平成23年11月3日(文化の日)第13回テクテク会を開催いたしました。今回は秋の湯の山温泉、ロープウェイから眼下の紅葉の御在所岳の素晴らしい景色を楽しみました。

平成24年度第26回東海東筑会総会を平成24年4月22日(日曜日)東筑会より高山和幸会長のご臨席を賜り、HOTEL ルプラ王山にて盛大に開催いたしました。今回は東筑会本部同窓会当番期82期会長 神森正茂氏(株式会社タスク代表取締役 行政書士)愛甲知成氏(トヨタ自動車株式会社)内藤真理子氏(名古屋大学大学院 准教授 医学博士)お三方の本部同窓会のPRを兼ねて参加いただき懇親会ではおおいに会を盛り上げていただきました。とくに内藤真理子氏はこの会に花を添えていただき感謝！また現役の大学生(名古屋大学)右田雄基君、波多野友貴君が参加されその若さに圧倒されました。

会は盛り上がりビンゴゲーム、写真撮影、校歌合唱、最高潮で幕を閉じ再会を期して散会いたしました。

東海東筑会としてこの総会を大いに発展



若手・女性の参加を期待して

させていくため何とか若手の参加を模索し特に女性の参加を期待しております。

高等学校野球大会(甲子園)1回戦敗退残念でした。来年を期し東筑会の益々の発展を祈念いたします。

事務局 木村睦彦(56期)記

### 関西東筑会

5月19日(土)、ラマダホテル大阪にて、平成24年度関西東筑会総会・懇親会が例年より多い155名の出席のもと、開催されました。今年の総会は役員改正のない年に当たり、荒金幹事長の開会のことにはじまり、岩淵会長の挨拶、富永事務局長の事業活動報告と続き、幹事長の閉会のことばで締めくくられ終了いたしました。今年の配席が、例年とは違い出身中学校別という

初めてのスタイルになったことにご理解頂けるよう、富永事務局長より説明がありました。

懇親会は、柴田晴夫校長、廣田貴子東筑会副会長、佐野和範東京東筑会広報部長、神森当番期会長(82期)のご挨拶に引き続き、山崎達人先輩(41期)による乾杯のご発声でスタートいたしました。

今年、世代を超えて交流を深め、東筑の良さ、絆の深さを味わって頂きたいと、出身中学校別配席に挑戦いたしました。当初は出席された方々が戸惑われるかと心配いたしました。そこは関西東筑会、先輩方は懐深く後輩を包み、後輩は尊敬の思いのもとに場は和み、クイズコーナーではさらに盛り上がり、地域ごとの団結力が発揮されました。今年の特徴は現役大学生(16名)の出席が多く、とても若々しく華やい

だものとなりました。将来関西東筑会を背負っていく若い力となってくれるものと期待いたします。

さて、楽しい宴の締めは富永事務局長音頭による校歌。当番期になって初めて東筑高校校歌に込められた深い意味、巧みな技巧を知るに至り、初心に戻って先輩後輩肩を組み熱唱し、昔日の思い出にひたりました。

ついに当番期引継ぎへ、感無量、無事閉会となりました。次期当番期80期の皆さんの緊張した面持ちが印象的でありました。

新しいことに挑戦した今年の懇親会、ふたを開けるまで不安だらけでしたが、先輩方のご理解・励まし・教えに導かれ、後輩の期待に背中を押され無事終えることができました。やり残したことは「はしわたし」のかたちで80期に伝え、務めを果たしていきます。先輩・同期・後輩という東筑高校の熱い絆を感じた懇親会でした。本当にありがとうございました。

東筑、万歳!

代表 百道貴子(79期)記

### 広島東筑会

平成24年1月9日(月)成人の日、広島ガーデンパレスにて開催されました。

早いもので昭和60年5月、月華殿での第1回広島東筑会開催から今回で第26回目を迎えることが出来ました。

本部からは久しぶりに増田校長(68期)にお出で頂き、高崎東筑会副会長(68期)、当番期(82期)の神森会長・江口副会長にも広島までお出で頂きました。

今回は初参加の4名(66期末吉さん、82期金丸さん、84期高橋さん、100期の中村さん)それに加えて61期の国分さんが8年ぶり、三次から48期の福政さんが4年ぶりに参加され、いつもの会員(45期の渡辺さん)から100期の山本さんまで)の22名を含め前代未聞、空前絶後の総員32名の大



現役大学生の参加で華やく



26回目の記念撮影 総員 32名

変賑やかな会となりました。

さて、今回も司会進行を具島さん(59期)にまた、トータルコーディネーターに当ホテルの元支配人の築山さん(60期)にお願いを致しました。今年で11年目の高橋会長(50期)の挨拶が始まり、高崎東筑会副会長の乾杯の音頭で懇親会が開演されました。しばらく欲談した後、恒例の「野球教室」ではカープの野手チーフコーチによる飽くなき優勝宣言(今年も「破天荒」と井生選手(97期)、今年入団の中村選手(100期)の決意表明をいただきました。

次の「絵画教室」では具島・後藤両画伯の作品披露。続いて「ニューイヤークンサート」では渡辺大先輩の二鼓、田中さんの歌曲、福政さんのピアノ、高橋会長のアルトサクソと柳原さん(ピアノ)と田代さん(ヴァイオリン)、姉妹プロによる息の合った演奏に全員うっとりさせられました。最後に恒例のカープ応援歌。東筑校歌を

全員合唱の後、記念写真撮影にて閉会。来年の成人の日、1月14日(月)には今年に負けず一人でも多くの会員が出席されますよう期待したいと思います。

五島昭紘(60期)記

### ふくおか東筑会

平成24年「ふくおか東筑会」の総会並びに懇親会は5月26日(土)17時から福岡国際ホール(福岡市中央区)で高山東筑会会長、本校の柴田校長と増本教諭をご来賓に迎えて開催されました。

総会では、幹事の一部変更と事務局の移転並びに会計報告が承認され、続いて柴田校長から本校の現状報告がありました。

また、恒例の卒業生による記念卓話は今年のアサヒビル(株)執行役員九州統括部長の白石行洋氏(74期卒業)の熱のこもった講演で大変好評でした。

懇親会では高山会長のご挨拶を頂戴した後、ふくおか東筑会顧問の小田原智一氏



牛嶋会長のハーモニカ伴奏による校歌斉唱

(60期)のご発声で乾杯をし、和やかな懇親の時間を過ごしました。

また、本年の本校同窓会の当番期である82期の皆さんが多数出席され、記念品の販売や本校同窓会に向けてのデモンストラーションを熱心に繰り広げられ、会場を盛り上げてくれました。

そしてこれも恒例となっている賑やかなビンゴゲームとジャンケン大会の後で、全員が輪になって、校歌を声高らかに斉唱し、本校同窓会の盛會を折ってお開きとなりました。

事務局長 富増春樹 記

### 芦屋東筑会

第35回芦屋東筑会総会・懇親会を、平成23年10月22日(土)に「マリントラスあしや」で開催いたしました。

当日は、東筑高校をはじめ本校同窓会「東筑会」・近隣七つの東筑会より来賓のご臨席を賜り、会員と合わせ76名の出席者で会場は一杯となりました。

総会は、はじめに物故者に黙祷を捧げ、会長あいさつ、来賓の紹介・祝辞と式次第に沿って進行し、平成22年度事業・会計報告と決算監査報告の議案について承認をいただきました無事終了しました。

総会に続く懇親会では、校歌を元気良く斉唱し、乾杯後の欲談では皆さま学生時代を懐かしんで思ひ出話を花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。また、恒例となりましたお楽しみ抽選会は抽選のたびに歓声が起り、一喜一憂しながらも楽しいひと時を過ごすことができました。

芦屋東筑会も総会・懇親会への出席の多くは高齢者ですが、そうした中で近年、徐々にはありますが若い人の姿も見受けられるようになりました。そして、受付や抽選会などの進行役を担ってもらい、また、本校同窓会の当番期の方たちには各テーブルの接待にご協力いただいています。会にとつ



若い会員の参加で盛り上がるお楽しみ抽選会

て大変ありがたく嬉しく思っています。若い人たちの出席は、会場をより一層明るく楽しい雰囲気にしてくれ、その光景は老・壮年の人たちからとても喜ばれています。

最後に皆さまのご協力により平成23年度の総会・懇親会が盛會のうちに終了できましたこと、心より感謝し厚くお礼申し上げます。

次回もまた、皆さまの元気な姿にお会いできることを楽しみに、会の運営・発展に努めてまいります。

会長 藤江宣喜(53期)記

### 岡垣東筑会

岡垣東筑会総会を平成24年4月22日(日)岡垣サンリーアイで、柴田晴夫東筑高校校長、東筑会本部廣田貴子副会長始め近隣地区東筑会会長また当番期宮崎達也、稲葉智子副会長や次期当番期の別府謙次会長を来賓にお迎えし、会員43名の総勢64名の参



田代榮一会长を称える

加のもと盛會裡に開催することが出来まし  
た。

特に本年度は、第六代会長として6期12  
年会長職を務め、会の運営にリーダーシッ  
プを発揮されました田代榮一氏(52期)が  
勇退されました。氏は任期中に「会員住所  
録の発行」や「岡垣東筑会会報の充実」に  
力を入れられ、特にカラー紙面化や広告を  
掲載して親しみやすい紙面作りを企画され  
ました。

次期会長に太田強(58期)が選任され、  
就任の挨拶を行いました。この中で初代会  
長田代利実氏(故人)、二代 田原利晴氏(故  
人)、三代 俵口勝美氏(故人)、四代 刀根  
博愛氏、五代 石田辰男氏(故人)、六代  
田代榮一氏の任期などを紹介し、先輩会長  
が長年に亘り築いてきた伝統の基盤を汚す  
事なく、より一層発展するよう務めたいと  
力強く挨拶しました。

総会に引き続き第二部の懇親会では、昔  
話に花が咲き、あつという間の時間が過ぎ  
最後に、刀根博愛顧問や当番期のメンバ

の指揮の下に全員で校歌を声高らかに歌い  
名残惜しい中、閉会しました。  
会長 太田 強(58期) 記

### 遠賀町東筑会

平成23年9月3日(土)に第39回遠賀町  
東筑会総会を遠賀コミュニティセンター  
で開催いたしました。当日は、井土東筑会  
副会長をはじめ、東筑高校より増田校長、  
久保教頭、近隣7地区東筑会より来賓のご  
臨席を賜り、会員を含め68名での総会とな  
りました。続いての懇親会は、当番期82期  
会の神森会長より東筑会総会に向けた意気  
込みをお話しいただいたり、おりお東筑会  
の瀧瀬会長より歌を披露していただいたり  
と、和やかな雰囲気では進行し、最後は  
校歌斉唱と万歳三唱でお開きとなりました。

また、この年の3月11日に発生した東日  
本大震災は皆さんの記憶に新しいことと思  
いますが、遠賀町東筑会においても被災地  
の復興に少しでも力になりたいとの思いか

ら、総会会場に募金箱を設置し、出席者の  
皆様からご協力いただいた募金と総会券の  
売り上の一部を日本赤十字社を通じて被災  
地へお送りいたしました。

次回の総会は、平成24年9月8日(土)  
に例年どおり遠賀コミュニティセンター  
で開催いたします。懇親会の中でアトラク  
ションを計画し、より多くの方に楽しんで  
いただけるよう役員・幹事を中心に準備を  
進めているところです。

さて、今年度で遠賀町東筑会は発足して  
40周年を迎えます。これもひとえに、会員  
の皆様や本校及び近隣東筑会の方々の支  
援ご協力の賜物と心から感謝いたしてお  
ります。これからも、遠賀町東筑会の更なる  
発展に向けて役員・幹事一同努力して参  
りますので、引き続きご支援を賜りますよ  
うお願い申し上げます。

事務局 藤澤 剛 記

### 中間東筑会

#### 2年ぶりに総会・懇親会を開催

去る4月28日(土) 中間ハートモ二ホー  
ルにて本校並びに東筑会及び近隣東筑会の  
役員の方々のご出席をいただき、2年ぶり  
に役160名の出席者で盛大に開催されま  
した。

総会では藤井紅三会長(58期)をはじめ  
全役員が再任され、引き続き懇親会が開か  
れました。母校新任の柴田校長(70期)の  
挨拶があり、藤田副校長の乾杯が始まりま  
した。中間東筑会は2年に一度の開催のた  
め先輩方の参加が大変多く用意していた  
120名分の席が満席で、若い後輩達は座  
る席がなく、立食パーティー状態でした。  
大変申し訳ない！ 当番期の82期生も「本  
番の東筑会」のPRに来てくれてました  
接待等に駆り出されビール運びなど手伝  
ってくれました。

感謝！感謝！です。



東筑会総会のPRをする神森当番期会長

楽しい懇親会もアツという間に過ぎて、  
充分用意していたはずのビールも底を突き  
ようやくお開きとなりました。

今回は平成26年4月に開催予定です。  
今回参加出来なかった方は次回は非参加  
して下さい。お待ちしております。  
今回新たに中間東筑会のシンボルとして  
「会旗」を作りました。初めて今度の総会  
に掲げる事ができました。これから「伝統」  
と共に「会旗」も大切に後輩に引き継いで  
行くつもりです。  
最後に母校の発展と同窓の皆様のご健勝  
をお祈り致します。

事務局長 日高教夫 記



フレンドリー鞍手東筑会

フレンドリー鞍手町東筑会この1年

本年5月、名称改めたばかりのフレンドリー鞍手町東筑会の総会・懇親会は、昨年と同じく、鞍手町々内の木月公民館にて開催いたしました。総会では新役員のご承認を頂き新体制でのフレンドリー鞍手町東筑会がスタートしたところであります。総会への参加者は50名余りと小規模な地域東筑会ではありますが、懇親会では、フラダンスの披露あり、太極拳の演武あり、コーラスありと賑やかに終えることができました。本校および近隣東筑会の来賓の皆様、また、開催に向けてご協力いただいた会員の皆様、ご出席いただきました会員の皆様に改めてお礼申し上げます。

総会・懇親会以外の主な行事として、今年3月、「本校および折尾駅周辺見学ツアー」を開催いたしました。

近いうちに取り壊されると聞いております折尾駅の建物や堀川沿いの街の風景を見ながら、昔話を語りあいつつ本校にむかいました。ここだけは昔のままの本校正面の階段で出会った、目のタリタリとした女学生さんに記念写真のシャッターを押していただきました。

ツアーの参加メンバーは全員、昔の木造



鞍手町東筑会 母校訪問 2012.03.26

校舎で学んだ者ばかりでした。改築成った本館校舎やその他の学舎の変わりように昔の面影を偲ぶ手がかりは見当たらず、「はるばる来たものだ」との感慨を抱いたものです。しかし、本館や体育館で出あった在校生のみならず、若々しく洗練とした姿を見て頼もしく思いましたし、元気づけられました。

40年、50年前にともに東筑高校で学んだということの機縁で、今ふたたびこうやって旧交を温める機会を得たことに感謝しております。

今後とも皆さんのご協力をお願いしながら同窓会の運営を進めていこうと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

事務局長 梶栗浩二 記

おりお東筑会

今年も来ちゃらんね、待つてるバイ。

おりお東筑会も昨年20歳を迎えました。諸事情で20周年行事ができなかったので、25周年に向けて頑張ろうと役員一同、心ひとつにしているところです。

第20回おりお東筑会総会(2011.11.12)には、130名を超える同窓生の皆様が元気に集い、ジャズ・オーケストラの懐かしい演奏に、楽しい福引きに大変盛り上がりました。

その節は、来賓の皆様、及び各期の幹事・82期の当番期の皆様の頼もしいサポートに感謝申し上げます。

今年も次のとおり、平成24年度・第21回おりお東筑会総会・懇親会を開催いたします。たくさん参加をお待ちしています。

○日時 平成24年11月11日(日)

○場所 北九州ハイツ

○会費 4千円

最後に「をりを」の近況をお知らせいた



20回目の総会、当番期の皆さんが多数応援

水巻東筑会

平成24年度水巻東筑会総会懇親会は、5月26日(土)に水巻商工会館で開催しました。母校および東筑会、近隣東筑会の来賓のご臨席、多数の会員の参加を得て盛大に開くことが出来ました。ありがとうございました。

水巻東筑会発展にご尽力いただいた梶山 稔会長(50期)のご勇退に伴い、新会長に江藤幹男(51期)、新副会長に安部久喜(56期)、(留任)副会長伊藤弘子(58期)、新事務局長に石井安英(62期)の皆さんが選任されました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

江藤幹男(51期) 記

宗像東筑会

平成24年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月15日(日)に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

当日は日曜日にもかかわらず、東筑会及び東筑高校、近隣地区東筑会の多数の来賓、東筑会総会の当番期(82期)の方々のご臨席を賜り、盛会裏に無事終了することが出来ました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

引き続き行われた恒例の講演では、田中一郎氏(72期)より「地域が学校を創る」と題して、ご自身の長年の教育経験を基にした地域と学校のあり方をお話しいただきました。経験を積んだ人しか話せない考えを披露していただき、大変貴重なお話を伺いました。

また、懇親会では初めて参加された方にお話していただいたり、吉廣幹事長の指揮で全員で「ふるさと」を合唱したりと終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。

その後、学生時代の淡い思い出のある折尾駅も、新しいお正月を迎えないまま、百年の歴史にとうとう終止符が打たれ、折尾の歴史がまた一つ、姿を消します。

次世代の子ども達に「をりを」の歴史、文化をどう語り継げばよいか、やるせない気持ちになります。せめて新しい駅舎に昔の折尾駅の面影だけでも残して欲しいと祈るばかりです。

事務局長 中村泰子(61期) 記

平成24年度総会を5月27日熊本センターホテルで開きました。7年前の結成総会以来、出席者がやや低迷していただけに15名の参加があり、安堵した次第です。継続は

ひのくに東筑会

事務局長 門司 剛 (63期) 記

さて、宗像東筑会の活動としては毎年恒例の「宗像環境フェスタ」のサイクルマーケットに出店しております。東筑高校の職を掲げて地域活動に積極的に参加しております。ぜひ一度参加してみませんか。最後に、この会報をこらんなった宗像、



第8回 ひのくに東筑会 2012・5・27 熊本交通センターホテル

遠きにおいて思ふもの……ふるさとと思ひ涙ぐむ」という室生犀星の句が頭をよぎりました。話がつきない中で、最後には恒例の校歌斉唱をしてお開きとなりましたが、参加者全員が高校時代をなつかしみ、楽しいひとときを過ごしたという充実感をもって散会しました。現在年1回の総会と、趣味の会として魚釣りやゴルフなどを企画した事もありますが、他の地区の同窓会に参加し、交流するなど、新たな企画をし、ひのくに東筑会のさらなる発展のため、知恵を出したいと思っています。

長、平田先生(69期)から「せっかく産んだ子供、大事に育ててほしい。」との思いを託されていました。プロジェクトで東筑ゆかりの映像(折尾、恩師、校舎、部活動)を鑑賞しながら止まることのない思い出談義。沖津会長からのご挨拶で中締め。静かだが熱い思い。ここに集うことができた事を互いに慶びながら時間は過ぎ去りました。最後は卒業以来28年ぶりに歌う。「よきかな東筑」。すばらしい時間を共有してくださいました同窓生の皆様、本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。「東筑でよかったです。」

白石 誠 (82期) 記



和やかな懇親会—よき時代を思い出そう

力なりと申しますが、毎年開催し、新しい参加者があるという事は、母校東筑への「思い」からの参加であり、総会開催の意義を痛感しています。当日は、柴田晴夫新校長、久保敬頭、東筑会特別顧問(前会長)小野晃氏、さらに82期会長神森正茂氏、副会長江口暢啓氏と幹部の方が、この小さな「ひのくに東筑会」総会にご出席いただき、会員一同大変感謝し、感激した次第です。総会は型通りの式順で終了、懇親会へと移行、今回初参加の83期阿部裕子さんの乾杯の発声でスタートしました。柴田校長先生から母校の現状報告があり、文武両道で活躍する後輩諸君に強いエールを送る拍手でいっぱいでした。また、小野前会長から「奨学金支給」の現状報告がありました。将来の有為な人材に、返還なしの奨学金支給に、他の学校の同窓会では見られない事業に、現役と同窓会との強い絆を感じた次第です。食事をとりながら、会員から近況報告があり、同窓生として誇りをもって、生活している事が話の節々に感じました。「故郷は

北海道東筑会

会長 中松健児 記

2012年3月4日(日)、雪解けをうながす快晴、10人の同窓生がサントリーズガーデン(そら)に集結。54期の先輩から101期まで。遠くは函館、そして当番期が九州と関東から駆けつけてくれました。総会ポスターが3箇所張られ、会場らしくなり、80期八田先輩の音頭で祝杯、静かに北海道東筑会がスタート。「2人集まれば東筑会」、2人じゃなくこんなに集まっていたら、何よりほっとしたとの言葉が本音でしょうか。



10人も集まり、待望の北海道東筑会スタート

各 期 だ よ り

39期だより

卒寿のお祝い

大東亜戦の生き残り、よくぞ90年。苦節艱難。吐息の絶えざることの無かりしこと摩訶不思議なり。然し今此処に生存していることは現実なり。只々神仏。先祖。両親朋友。先輩。後輩に感謝感涙あるのみ。

去る平成23年9月13日、黒崎駅前ホテルパールシティにて、39期生18名が集いてお互いの卒寿を讃え合い祝賀の会を催した。

発起人、末松の挨拶、両女性師範による御祝儀日舞。

九十齡心愈新 高風清義耐相親  
39期朋友今日瑞雲集 積善更期百歲春



祝 卒寿 東筑 39期の会 2011年9月13日 於、ホテルパールシティ

歌人の川原は、無宗教で神の存在を信じていない。私にとっては天国も転生も稚戯ではない。鳥獸や草木と同じように寿命が尽きれば死んでゆく。今日実行した家事の一つのように、死もまた実行のこととなるのである。

梅雨の憂き晴らすべかりし麦酒さえ、断ちて幾日、胃潰瘍病む

保安官の筒井語る。戦時中、赤十字病院船にて通信業務に励む。若き看護婦さんからの求愛に心をときめかした淡き思い出。航海中に死亡した兵士の水葬に連日のように立ち合うことで、別離を告げる船の長い汽笛音が今でも耳底に残っている。終戦迄に傷兵軍需品輸送の為失われた船舶は2千3百隻、8百万屯。殉職した乗組員は6万人を超え、欲呼の聲に送られて出征しながら途中で海没した数万の将兵、そのことを思うと今でも胸が痛む。激動の社会を生き抜いてきた我等。これからの「生かさされて命」を大切にしつつ、幾歳まで生きたではなく、どのように生きたか示そうではありませんか。

俳人の林は創る。  
教え子と90本の薔薇に酌む  
卒寿祝ぐ39期天高し  
はてさて白寿39期生何人生存しあるや？  
114年の伝統に輝く東筑健児よ!!  
全世界に羽搏け!!!

(幹事 刀根博愛 記)

49期だより

傘寿のお祝い「畠劫多生の縁」

私も49期同期会は昭和7年生まれで、今年80歳の傘寿を迎えるお祝いの年であります。このお祝いをおかねて平成23年11月4日13時より、ホテル「クラウンパレス北九州」に於いて、同期会を開催しました。まず、会長の挨拶に始まり、物故者の冥福を祈って黙祷、続いて筑前琵琶「壇の浦」

を山口旭江さんにより、祇園精舎の鐘の聲と語られ、大変感激致しました。その後、乾杯により和やかな楽しい宴に入り、本年は、民謡歌手の中西奈津子さん(遠賀郡芦屋町出身)により、まず祝吟「富士山」を歌って頂き、次に会津磐梯山など、七曲を歌って頂き、会を盛り上げて頂きました。その後は、各人、喉自慢のカラオケで楽しいひとときを過ごしました。

幹事組織の変更後2年目でしたが、各人がそれぞれの持ち場で良く協力し、努力したお陰により、男女合計70名の参加を得ました。遠くは関西・宮崎などから駆けつけて頂き、感謝の念で一杯です。

来年も、同期会を開催致します。体を大切に皆様と逢えることを楽しみにしています。

親の心としては、

呑まばよし 呑まねばなおよし  
呑むならば 身にも人にも  
さわらぬほどに



岩崎徳男君の書

(幹事 永田憲生 記)

50期だより

恩師は涅槃の風となる。追悼光永先生

私たち50期3年7組の組主任だった光永常雄先生(37期)が今年5月1日に亡くなられた。享年92歳。5月3日、北九州市八幡西区本城のセレモニーホールで葬儀・告

別式が行われ、数え年80歳の教え子6人も参列。クラスを代表して不肖、高崎が弔辞をよみ、心からご冥福をお祈りした。霊前に捧げた弔句は  
忘るまじ、恩師は  
涅槃の風となる

今から丁度60年前の昭和27年3月1日は50期生の卒業式だった。最後のホームルームで、光永先生はこう言われた。  
「君たちと私は、年齢差が余り無い。卒業しても母校に顔を見せて欲しい」  
私たちは先生のこの言葉に甘えて、卒業した年から殆んど毎年、クラス会を開いた。最初は先生の校宅。2回目は南校舎(現折尾高校)の家庭科教室だった。

「光永クラス会」は、その後賑やかになり、長崎グラバー邸観光や、別府亀川温泉での楽しいパーティーもあった。

昨年11月8日、教え子9人はJR黒崎駅で落ち合い、お茶とお菓子を持って光永先生がお世話になっている北九州市八幡西区の「ふくきたケアセンター」を訪ねた。楽しいおしゃべりのあと、昼食時間に



最後になった「光永クラス会」平成23年11月8日

なつたので、辞去したが、先生は外まで出てこられ「また来年も会いたいナ」と皆と握手された。あれから僅か半年後に逝去されるとは、誠に痛恨の極みである。わが母校東筑は、創立114周年。これまで3万8千人の有為の人材を輩出している。しかしながら、卒業後、60年間もクラス会を続けたのは、「光水クラス会」を除き、皆無ではないか。またそれを支えたのは、先生と私たちの固い絆ではなかったかと、今も思いを新たにしている。

(高崎剛夫 記)

### 51期だより

#### 桜満開の古都奈良を巡るクラス会

平成24年4月9日～11日の2泊3日で3年4組有志7名で桜満開の古都奈良を巡るクラス会をいたしました。喜寿を過ぎた歳にも負けず毎日10キロ程を元気に歩きました。泊ったホテル「フジタ奈良」は奈良公園に近くJR奈良駅と近鉄奈良駅の間にあり、どこに行くにも便利で会食もゆつくりと出来て満足でした。初日はホテルに集合、荷物を預けて修学旅行の時に歩いた道。右に猿沢の池が見える坂道を「なつかしいね」と話ながら興福寺へ。

五重塔を過ぎ国宝館で阿修羅像をはじめ数々の名宝に仏教文化の真・善・美に心を寄せせる。続いて東大寺へ。ここは今も私達の高校時代からの修学旅行のメッカ。幾つもの学校の生徒達が行列を作っていた。その間に交って拝観する。天下太平、万民豊楽を願って建て



興福寺にて

られた混乱の世と現在とを重ね合わせて盧舎那大仏を見上げた。そして大仏殿の柱の穴をくぐる賑やかな学生の姿に自分達の時のことを思い出しながらしばし見入っていた。大仏殿から出て振り返ると満開の桜の中に金の鯉が午後の日差しを受けて輝いていた。2日目は室生寺へ。近鉄室生口大野駅でバス待ちの間に近くの枝垂桜で有名な室生大野寺を見物する。枝垂桜はまだ満開ではなかったが見事だった。対岸の断崖に鎌倉時代以後鳥羽上皇の勅願で刻まれた総高13・8米の「弥勒磨崖仏」がある。そこから山道をバスでひた走り女人高野室生寺へ。お寺は山深い所にあつて山桜も有名な石楠花も蕾でしたが金堂、五重塔が落ちついた美しいたたずまいを見せ長く伝えてきた歴史を静かに語りかけてくれる。昼食の後花の長谷寺へ。女性群は駅からタクシード先着。牡丹はまだでしたが桜は満開。頂上の本堂まで399段の「登廊」を登った回廊の両側にある一面の桜とサンシユの花の黄色とのコラボレーションが息をのむ美しさだった。本堂で徒歩での男性群と合流、京都清水寺の舞台に似た本堂の舞台に立つとまさに、都ぞ春の錦の景色が視界いっぱい広がっていた。回廊を登り切った達成感とあわせて、金堂の十一面観世音菩薩を見てほっとする。これで奈良

を満喫したね」と長谷寺を後にした。3日目は「斑鳩の里」法隆寺へ。南大門から入り最後は夢殿まで、春季夢殿本尊特別開扉の初日だった。ついでるね」と入観。鐘がなるなり法隆寺。などと口ずさみながら拝観を終了。5人が夢殿を出て、読売新聞のインタビューを受けていた山本さんと横にいた田中さんを雨の中で待ったが2人は出て来ない。記者の方を見つけたので聞く。お2人はとくに帰られました。とのこと。生憎はぐれた2人の携帯番号を誰も知らなかった。後で聞くと2人は、西口から出ると法隆寺の外周は道がわかりにくく遠回りになるので来た道に戻った方が良く」と係員に教えてもらって引き返したそうで、それを知らずに待った5人は法隆寺の外周の狭い路地を右へ左へと尋ね尋ねて南大門に向う。行き着くまでの途中は道路が狭く危ないからと、雨の中を同行して脇道を案内して頂いた地元の学童の安全見守りの方のおかげで、南大門のバス停に辿り着いた。その時目の前で発車したバスにはぐれた2人が乗っていたそうです。次のバスまでの間に昼食をとりホテルに法隆寺で消えた2人への伝言を頼みホテルへ戻る。先に戻っていた2人と会い安堵の胸を撫でおろす。歳を重ねる度にハプニングも多くなるね」と大笑いする。ホテルでコーヒードキで一服。来年は九州にしよう」と話ながら帰路についた。

さて来年はどんなハプニングが待ち受けているのでしょうか。60年前の青春時代をなつかしく思い出しながらの旅でした。

(51期 阿部道子 記)

### 52期だより

#### 「よめいれ道」～「そこのから」

あの赤い「チャンチャンコ」から「人生七十古来稀なり」をクリアし「喜寿」を迎える年齢になりました。



本校玄関前にて 平成 23 年 11 月 17 日

その祝いを、解体間近い折尾駅集合、新装なった母校訪問、そして宇佐神宮参拝、別府宿泊に決まりました。

卒業以来初の折尾駅の友も多く、南校に1年間通った堀川左岸の、年商3億円の「たこ焼き」店もある飲食店街の通りを懐かしみ、52期の旗を立てて、母校に向かう途中で、「52期は今日は何んことね」と声を掛けられ「ローカル、ローカルいい景色だ」と感激する遠来の友、途中の白玉病院も一段高いところにそのまんま、皆さんそれぞれの思い出を持って母校へと向かいました。昨年全面改装されたピカピカの玄関で増田校長先生、柔道部顧問の平田先生の出迎え

を受け、応接室に案内され近況報告等に耳を傾けました。出張の為席を外された校長先生のは後平田先生から校舎を案内していただき、今後もう訪れることもないでしよう玄関で、それぞれ写真を写し母校を後にした次の目的地である宇佐神宮に向かいました。

宇佐神宮では一般の方々と同じお祓いを受け、次に我が52期会長の特別な骨折りで、皇族や勅使しか通れない南中楼門(勅使門)で参加されなかった同期生も含めての52期全員のお祓いを受けました。神殿の写真撮影もフラッシュなしで一枚許可を戴き我が52期会報にカラーで掲載することが出来ました。

3つの行事も無事にすみまして銘菓「呉橋」を買って求め、昼間参加されなかった数人の友の待つ別府温泉へと向かいました。

本校の増田校長先生、平田先生、宇佐神宮の皆さん、別府の宿の皆さん、おかげで大きな催しも無事すみました。有り難うございました。

(事務局 三好孝臣 記)

### 53期だより

癌と闘わなかった故横山譲二君  
医者の横山譲二君が癌と闘うことなく、



東京東筑 53期「菖蒲会」  
平成24年6月12日 於：代々木倶楽部

平成24年4月13日に逝った。後に悲報を聞き、去る6月12日の菖蒲会(53期東京東筑会)では彼のありし日を偲んだ。人間の死に除外例はないが、彼の生き方はまことにユニークだった。60歳になった日に突如医者止め、以後は自分の哲学と美学に殉じて生きそして死んだ。診察を拒否し最後まで死を見続けた末であった。彼もまた剛胆な九州男児であった。  
(千々和久幸 記)

『鵜飼を楽しもう会』IN 犬山  
・・・面白の有り様や。・・・鵜舟の籐、影消えて、闇路に帰るこの身の名残り惜しさをいかにせん。(謡・鵜飼)

清々しい秋晴れの、波穏やかな木曾川の鵜飼、投げ込まれた一尾の鮎を競いあい、鵜呑みにもできず……冒頭のような風情はありませんでしたが、鵜飼もまた一興でした。

平成23年10月5日(水)、日頃の行ないの良さに反して、犬山遊園駅に着いたとたんに土砂降りの雨となり、観光は中止とし、全国から集いし久しぶりの旧友との語らい、温泉で寛ぐ時を得ることができました。雨の中の犬山城や城下町散策を楽しまれた方もおられました。名鉄犬山ホテルの宴には36名が出席しました。

翌6日(木)は一転して晴天に恵まれ、国宝の日本最古の天守閣が聳える犬山城に登れば、木曾川南岸の小高い山に立つ別名白帝城からの眺望はこれまた絶景であった。国宝茶室如庵の静かな佇まいの庭園有楽苑の散策。そして木曾川鵜飼に32名が出席。木曾川の流れば広く穏やかにして、雨に洗われた岸の緑は鮮やかなり。舟上での豪華な鮎弁当に舌鼓を打ちながらゆったりと時も流れました。青空の下の舟先の篝火、8

### 56期だより

『鵜飼を楽しもう会』IN 犬山



名鉄犬山ホテルに集合

羽の鵜が鵜匠の網に引かれ、先方の舟から投げつけられた一匹の鮎を競う、残念ながら、鮎が少なかつたからか、短時間のショーでした。

・・・おもしろうてやがて悲しき鵜舟哉。・・  
(芭蕉)

婦路、次回は何時、何処でが話題となりました。また、お会いしましょう。  
(会長 田中康敬 記)

### 57期だより

柳川川下りをテレビ放映

57期はここ数年東筑会総会日に同窓会(約40名参加)を行うとともに、別のなんかの行事を行ってきました。

平成21年には関西に修学旅行を行い43名が参加しました。平成22年には亡き同級生を忍び、「しのぶ会」を行い同窓生51名が



柳川「お花」にて 新婚さんの気分でおさまりました！

参加しました。(しくなられた同窓生は現在80名となりました)

平成23年は11月に柳川川下りに17名が参加し、まず舟に乗り柳川川下りを行いました。ゆらりゆらりの中に船頭さんの説明を聞きながら進んでおりましたところ、前方からの川登りの船に、あでやかな傘のもとに、男性は羽織はかま、女性は文金白無垢姿の新婚さんが乗り、女性がほほ笑んですれちがいました。私達の船から割れんばかりのお祝いの拍手をしました。それにこたえるかのように花嫁さんがいっそうあでやかな笑顔を返してきました。

そして柳川「お花」に到着、ビールで乾杯しながら柳川名物のうなぎのせいり蒸しを頂き、同窓生との会話を楽しみました。そしてお花の手入れの行きとどいた庭園や柳川藩立花家のきらびやかな宝物をゆっくり見学し、次の大川の古賀政男記念館に行きました。昭和を代表する偉大な古賀政男の記念品の展示と生家を見学し、ギターを抱えた案内の方が古賀メロディを引いてくれ、更に皆で古賀メロディを歌うことがで

きました。ゆるやかなゆつたりの一日でした。

そして年を越し柳川川下りも忘れかけていた2月5日柳川川下りに行った同級生に突然電話が入りました。「君がテレビに出ていて」との知らせでした。あの新婚夫婦がテレビに出たのです(テレビは家の大改造を扱った番組です)。それに私達の船が写り、同窓生の友人が見たのです。私達の舟が、私達の姿が全国に放送されたのです。子供さんが見、同級生が見、更に東筑野球帽をかぶっている人がいたからあれは東筑卒業生だといろんな方に見ていただきました。

平成24年10月には、いよいよ最後の関東修学旅行を開催します。40名見当の同級生が最新のスカイツリーに登り、古き鎌倉を訪れ、修学旅行の思い出の箱根に旅する予定です。

(幹事 坂本達夫 記)

### 58期だより

#### 台北3日間の旅

私達58期は、古希を記念して台北3日間の旅行へ昨年11月16日〜18日に出掛けました。この旅は飛行機とホテルがパツクされているだけの旅で添乗員は同行しません。従って自分達で台北へ行き入国手続を自分達で行ない入国すると現地係員が待っていてホテルまで案内してくれると言う物です。ところが参加者の1人がパスポートの有効期限が3ヶ月と3日足りないと言う事で、パスポートコントロールで引掛ってしまいなかなか荷物

の回転台にやって参りません。皆イライラして待っています私達のグループだけが荷物と一緒に残り残されてしまいました。約1時間くらい待たされてやっとその人が出て来ました。聞くと5千円の罰金を払って入国を許されたとの事、



古希の旅、台北3日間

やっと台北へ入国出来た私達はホテルへ入り、その日の夕食を食べに外へ出掛けました。夕食はフカヒレの塊が2個も入ったスープとアワビのステーキ、伊勢エビのチーズ焼等、大変豪華な夕食で今まで食べた中華料理の中では最高の味でした。

次の日は台北市内観光と、「千と千尋の神隠し」のロケ地となった九份の観光と夕食でした。九份で食べた現地の料理も又大変美味でした。夕食後、士林夜市へ出掛カットフルーツを買って食べました。仏頭と言う日本ではお目に掛れない仏様の頭の形した甘酸っぱいフルーツで大変めずらしくおいしく頂きました。

最終日はフリーデいで自分達で故宮博物院へタクシーで出掛、日本語のガイドを借りて4時間半位かけて故宮博物院の中を見て廻りました。昔の中国の書や絵、工芸品特に翡翠で作られた白菜等に見応えのある品々を見て廻り大満足の旅でした。

(藤嶋絹江 記)

### 59期だより

はてさて時の過ぎるのは速きものと聞いてはおりましたが、我々59期も卒業後50年がアツという間に通過してしまいました。まさに「光陰矢の如し」を痛感しているところでは、「古希のお祝」となる全員が一緒には70歳というわけにはまいりませんので些か不都合を感じますが、卒業後50年ならば同時に迎えられるのでこれを記念して何か思い出作りをやるうではないかという事になり今回の「沖繩3島巡りの旅」を企画・実行したわけでありませぬ。

一昨年の秋頃から計画を始め、全国の同期生約400人に案内状を郵送しました。2月末の集計では、予想を大きく上まわり60人強の参加者の応募がありました。ところが3月11日にご存知の未曾有の大

災害、東日本大震災とその後に福島第一原発事故が勃発しました。

あの悲惨事を目の当りにし、私達は4月の実行に大きな躊躇いを感じました。そこで何度か話し合いの場をもち、世話人全員で納得がいくまで意見や気持ちの合いました。その間、参加希望者の中からの数、不参加への変更連絡がありました。勿論、理由は、こういう時に旅行なんて...ということでしょうが、それは想定内のことではありませぬ。

最終的には、その理由は長くなるので割愛いたしますが、旅行を実行いたしました。旅の始まりは、全員石垣島に集合日でした。参加総数46人。1日目は、久しぶりの再会に話はずむな、石垣島巡りです。中でも川平湾の水中クルーズは、本島では観られない水中風景でした。

2日目は、西表島の神秘的な雰囲気の中で次々に目に映る風物は久しぶりに童心に戻り心躍る思いでした。

夜は大先輩、高倉健氏もしばしば訪れるという「舟蔵の里」で大宴会を開催。

健さんの後輩と聞いた女店主が特別に、すばらしいトークショーをサプライズしてくれました。

旅行は無事、大禍なく全行程を終了しました。参加者全員大満足の顔をして、別れを惜しみながら再会を期して、各地に散っていきましました。

(追伸)大惨事に関して、ことあるごとに話題となり、我期も何か具体的な支援をという事になり、残り少なくなつた期の会計から10万円を新聞社の震災支援募金厚生事業団に寄附させていただきました。

(会長 木村久光 記)



アツという間の50年記念旅行



## 60期だより

古稀の足音、コキコキと聞こえてくる。数えて69歳、よくここまで生きてきたものだ。

同期の皆さん、お元気ですか。厚労省の言う平均寿命とやらは男で79・64歳、女で86・39歳。あと10年は人生を楽しめよう。命はリズムとバランス。リズムに乗って快活に、バランスよく飲み食い、健康に。輝ける70代をしながら美しく生きましよう。高度成長経済社会を引っぱってここまで来たという自負は忘れない。あまりに成長し過ぎて、伸びしろがなくなつて、現今の低成長経済社会になつたのかな。とにかく、モレッツ社員ではあります。よく働きました。現役の皆さんごめんなさい、でも頑張つて我々高齢者の生活を支えて下さい。あと、十数年の平均余命です。われらが世代、年金を得ることのできる世代である。つまり、働かなくても、金が入ってくる隠居世代である。年金を貯金するような人いるかな。貯金なんかしちやダメだぞ、全部使い切る。働かなくても食っていけるってのは、遊び人だ。そう、あと十年遊びくらそではないか諸君。我々が人生、あとは下り坂しかない、下り坂、楽だよ、ペダルから足を離し、風を切つていっしょにソフトランディングといこう。でも、いるんだよな、70になつても権政欲をさらにみながら世の中をひっかきまわしている人が、醜いっつらありやしない。また、それにくつついて媚を売らまくっているのがあるんだ。情けないっつらありやしない。そんな人種にならなくつてよかつたよ。静かに、穏やかに、しかし面白く、おかしく、一日、一日大切に余生を送りたいよ。皆さん、同期生諸君、慈しみあって、仲良く生きていこうではありませんか。

(有田秀明 記)

## 61期だより

## 第17回温泉ぶらり旅

今年で17回を迎える旅は、からりと晴れた4月15日に、水巻の同期生の店「竹の子」を10時に出発。今回の参加者は男性10名、女性9名内初参加者3名で目的は雄大な阿蘇を目指す。我々の旅は宿泊地のみ決めてバスの中で行きたい所をその都度決めて行く旅である。桜の花も散り、菜の花の中を昨年開通した鞍手インターより高速道を南下する。早速、缶ビールが回ってくる。運転手に気を付かうようでも無くどどん飲みおしやべりをし気持ちは学生時代に戻り最高。そうする内に八女のインターで降り市内の古い町並みと古民家を散策する。これより星野村のシャクナゲ祭りが開催中との看板を目にしたので見に行くが残念ながら2・3分咲きでがっかり。丁度昼になったので昼食をとる。休憩後、これより通った事も無い山越えで菊地方面を目指す。深い山間の峠を越え県道沿いに小さな古びた山菜の店を見つめる。3名のおばあさんが店番をしていた。ここに立ち寄った女性陣は安い安いと言つて山菜をほとんど買い上げ、お陰でおばあさん達は売物が無くなり早く店を閉める事となった。これより中津江村に入りオートポリス付近を通り、大観峰近くに着き一服する。眼下には内牧温泉街が広がる。今日宿泊するのは内牧の「五岳ホテル」である。5時ごろ到着し荷をほどき早速温泉に入る。すべすべした温泉が旅の疲れを取つてくれた。夕食は鍋料理で盛りあがる。食後、一女性からの提案でゲームが始まる。勝者には宝くじ券が貰えるようになっていて全員の目の色が変わつて来る。楽しいひとときの後は宴会場の庭の満開の桜を見物する。翌日はやまなみハイウェイを通り別府の鉄輪温泉の地獄蒸し料理を昼食にいただく。これより高速道を通り水巻に到着する。今回も天気



阿蘇五岳をバックに

に恵まれた楽しい2日間であった。

(幹事 古賀正博 記)

## 66期だより

## 箱根で同期会を開催

平成23年10月8日に箱根で同期会を開催しました。今回は、関東地区在住の同期生に貸し切りバスと会場の手配をお願いし、関東から11名、九州・関西から12名の合計23名が参加しました。集合場所の東京駅が改装中であつたため、当初予定していた場所が使えず、東京駅の中を何度も往復して連絡を取りあひながら、やっとのことでのバスを駐車場所に集まることができました。遅れて到着するメンバーを待つ間の時間調整として、完成間近のスカイツリーを望みながら浅草を観光し、同期会会場である仙石原の箱根パレスホテルへ向かう途中、修学旅行の時にも立ち寄つた芦ノ湖畔で関東所跡も見学しました。同期会では、前回の京



2年ごとの再会、箱根にて…次回は関西地区

都での還暦同期会では会えなかつた関東地区の同期生にも会うことができ、近況報告や卒業以来の積もる話をする事ができました。恒例となった3番までの校歌斉唱によって、宴会を終えた後、二次会のカラオケ会場へ移動して、夜遅くまで盛り上がりました。翌日は天気が徐々に曇り空へと変わってくる中、観光のための車で渋滞する道路を大湧谷まで登り、周辺を散策して名物の「黒たまご」などを賞味したりしました。大湧谷から芦ノ湖へ降りる頃には素晴らしい天候となり、皆で遊覧船に搭乗しました。今回の同期会は、バスによる移動時間が長く、修学旅行を再現した観があり、移動途中にも和気あいあいと言語に花を咲かせることができました。66期は、2年ごとに同期会を開催することにしており、次回は平成25年に関西地区で開催する予定です。

(加来久幸 記)

# 71期だより

今年伊勢物語、植生先生古典授業、小林先生(家庭科)も特別参加!

6回目を数える植生先生の古典の授業は、「貴、男ありけり」の書き出しで知られる伊勢物語が教材でした。

今年は、家庭科の小林先生も特別参加され、皆と席を同じくして聴講されました。

まず、六歌仙の一人の在原業平と伊勢物語の関係が解説され、彼が作者ではないという現在の説が披露されました。

続いて、先生が選ばれた三つの段について詳しく説明をお聴きしました。

選ばれたのは初冠(うみかうぶり)の一段、「かきつばた」の折り句の九段、「筒井つ」の二十三段でした。

授業の中で、人が亡くなったとき身分によって「崩(ほう) 薨(こう) 卒(しゅつ) 不録(ふろく) 死(し)」と表記が異なっていたという新しい知識を得ることができました。

先生の博識、熱弁は立て板に水のごとくであつたという間の2時間のお話でした。ここで、71期の皆さんに還暦のイベントのお知らせです。

いよいよ近づいた還暦に向けて記念の行事を計画しています。プランは2つです。

一つは「還暦修学旅行」で2、3泊。一つは、日帰りの「還暦バス遠足」を考えています。

まだ、プランの段階ですが、改めてお知らせをいたします。お楽しみに!!

毎年、充実した楽しい授業をして下さる植生先生、どうもありがとうございます。

今年の幹事役の浅川君と芳賀さん、パンフレット作成の三橋さん、事務局長の林君、大変お世話になりました。ありが



前列右から 3番目植生先生 4番目小林先生

とうございました。  
71期の皆さん、秋の福岡での会や来年の東筑会でまたお会いしましょう!!  
(会長 三宅正輝 記)

# 79期だより

「50歳の当番期」5月19日、大阪市ラマダホテルで関西東筑会総会と懇親会が開催されました。今年50歳を迎えた我々79期生が3年前の本会と東京東筑会に続いて当番期を担当させていただきました。当日は木山君・阿部君を中心に、関西在住の約10名の同期生が長期間準備を重ねた、とても素

晴らしいひとときだったそうです。残念ながら自分は参加できませんでしたが、地元九州から約30名、関西以外からも約10名、総計約50名の同期生が集い、関西の東筑関係者の方々を迎えお世話させていただきました。懇親会終了後、京都に場所を移し79期だけの50歳の修学旅行も実施されました。最近ではメーリングリスト上で関東・関西・九州の交流がますます盛んになってきています。約5年間の当番期の大役を終えて同期生同士いつまでも仲良く交流が続くことを心より祈ります。

(幹事 藤井 潤 記)



関西東筑会に再集合(当番期として)

# 95期だより

2011年12月30日、卒業15周年の同期会を小倉ステーションホテルで行いました。今回は卒業10周年に引き続き2回目の開催で、総勢70名を超える同期が集い、旧交を温めました。幹事は永田貴久さんと村田智美さんが務めていただき、盛会のうちに終えることができました。次回は2016年に卒業20周年記念を予定しています。

(清本芳史 記)



卒業後2回目の同期会

# ウェブサイト開設

これからの東筑会の情報は  
ウェブサイトでチェック!!



## 東筑会情報満載!!

- 必要な情報はプリントアウトで即保管。
- 懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- 場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- 同窓会期リンク集を掲載。

**www.tochikukai.jp**

スリーダブリュー トウチクカイ ジェイビー

### 同窓会ホームページ開設

今夏のロンドンオリンピックでの日本人選手の大活躍は、明るい話題として日本中を駆け巡りました。過去最高の38個のメダル獲得は、被災地を含めた日本社会全体に大きな感動をもたらしてくれました。東京銀座でのメダリストパレードには、50万人もの人が集まりました。地元遠賀町出身の女子競泳平泳ぎの鈴木聡美選手は、3個のメダルを獲得するという快挙。記録的な猛暑を吹き飛ばす大活躍でした。バラリンピックでも日本人選手は大活躍しています。障害をもろともせず、競技に全力で臨む選手の姿は、我々にチャレンジ精神と向上心の大切さを感じさせてくれています。

### 編集後記

さて、東筑は母校OBの柴田晴夫新校長を迎え、引き続き明るい話題を多く提供してくれています。誠に、心強い限りです。会員の皆様方、今回も多数の投稿をいただき、心より感謝申し上げます。各地区や各期からの便りから、益々活発な東筑会活動にご尽力いただいている様子が目に浮かんできます。お陰様で、会報33号が発刊の運びとなりました。本当にありがとうございます。

会報委員一同、皆様に楽しく、親しみをもって読んでいただける会報作りに一層努力していく所存です。今後ともよろしくお願ひします。

会報委員長 青野元昭

## 東筑会 会員名簿

「平成25年版」

平成25年3月に発行します。

旧制東筑中学校、折尾高女、新制東筑高校の同窓生4万1千余名掲載の名簿は、会則、学校沿革史、歴代校長、旧職員、現職員の資料もそろえ会員の記載内容は住所変更等精度も高くなっています。御購入のうへ一層の活用をおはかりください。

頒布価格は1冊5,000円(消費税含む)。送料500円を添えて、現金書留にて申し込みください。3月1日より発売いたします。

なお、3年毎に会員名簿を発行、販売して参りましたが個人情報保護の観点から平成25年版を以て、名簿の発行を中止することにいたしました。

### ●申込先/〒807-0832

北九州市八幡西区東筑1-1-1

東筑会事務局 宛

Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820

### 広告掲載のお願い

名簿への広告を募っています。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

A (A4判 1 ページ・50,000円)

B (A4判 1/2 ページ・25,000円)

C (A4判 1/4 ページ・15,000円)

以上の3種類です。締切日は11月30日。詳しくは事務局(豊倉)へお問い合わせください。

### ご連絡下さい

☆住居表示に変更のあった方

☆改姓・転居された方

### 新住所を事務局へ

\*個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815  
Fax 093-603-6820  
E-mail tochiku\_k@ybb.ne.jp  
(担当 豊倉)